

竹田キャンパス

平成20年11月に締結した本学と竹田市との交流協定の一環として、21年9月に県内の高校生と美術科の学生たち60名によるアートキャンプを廃校となっていた旧下竹田小学校で実施しました。「これからも、創作活動の場として旧下竹田小学校を活用したい」との感想を持ったことから、竹田市と協議した結果、年間を通じて活用できる「芸文短大竹田キャンパス」を4月8日にオープンしました。



▲竹田キャンパスの開設を記念して前田講師と学生が制作した染色作品

「竹田キャンパス」では、ゼミやサークルの合宿、創作活動の拠点として活用するほか、5月からは、本学で染色を指導している非常勤の前田亮二講師がアトリエとして常駐し、創作活動や学生への指導、地域との交流に取り組んでいます。

今号から、前田講師による「竹田キャンパス通信」をお届けしていきます。



竹田でシェイクスピア公演を実施

本学の演劇サークルが中心となって竹田キャンパス開設記念演劇公演を市の協賛を得て竹田市文化会館で行います。7日(土)から30名のスタッフキャストが竹田に行き、竹田キャンパスで合宿。地元の小・中学生にも出演もお願いし、シェイクスピアの「十二夜」を時代劇にアレンジしたものを上演します。

公演は8月8日(日)午後2時から。当日は本学から大型バスが竹田を往復し、下竹田の皆さんにも観劇していただけるよう準備を進めています。

竹田キャンパス通信

はじめまして、竹田キャンパスの情報をお伝えします前田亮二(非常勤講師)です。

5月の中頃より、ようやく竹田キャンパスに移り住む事ができました。個人的な事ではありますが、住民票もこちらに移し、約10年ぶりに大分県民に戻りました。

先日は藍の種を近所の畑に植えさせてもらいました。皆が初めての事で市長も交え、地域の方々10数人で「あ〜だこ〜だ」と言いながら無事種まきが終了。さあ、後は芽が出るかどうか。まあなんとかなるでしょ〜

地域の方々もとても親切な人ばかりで、この場所にたくさんの学生達が遊び、勉強にくるのを楽しみにしていたようです。

みんなで竹田キャンパスを新たな遊び場に仕立て上げて行きましょう!!



藍の種まき(5月22日)▲

Oita Prefectural College of Arts and Culture

WELCOME TO NEPAL



今年度、2名の留学生が本学に入学しました。情報コミュニケーション学科で学んでいるゲワリ・マニ君に、出身国であるネパールについて紹介してもらいます。

NAMASTE (こんにちは)。私はネパールから来たマニと申します。今日は私の国ネパールについてご紹介いたします。

ネパールは南アジアの北側にあって、北側にはヒマラヤと面しています。北には中国があって東、西と南にはインドがあります。人口は約2700万人で、国民のほとんどがヒンドゥー教と仏教です。

- 首都: カトマンズ
- 面積: 147,181平方km (日本の約3分の1)
- 共通語: ネパール語
- 時間: GMT+5.75H (日本とは3時間15分の時差がある)
- 通貨: NRP (Nepal Rupee)
- 国教: ヒンドゥー教 (世界でヒンドゥー教を国教としている唯一の国)
- 主な産業: 農業、観光
- 休日: 土曜日、祝日



ネパールは世界で美しい国の一つです。自然な景色、文化や有名なものがいっぱいあって、だれもが行きたくるところだと思います。ネパールの首都はカトマンズで、歴史的なものがたくさんある古い都市です。カトマンズという大きな盆地の中に3つの有名な町があります。ひとつはカトマンズ首府がおかれています。世界遺産



カトマンズバサントプール・タワー広場周辺

ネパールには世界で一番高い山・マウントエベレスト(標高8850m)があって北側にはきれいなヒマラヤがあります。きれいな景色や自然がいっぱいあるので観光者の人気があるところ。それからブッダが生まれた国として西側のブッダが生まれた町LUMBINIが有名なところです。



ネパールに行くには 関西国際空港から行く場合、水曜日と日曜日の週2便ロイヤル・ネパール航空がカトマンズ行きの直行便(正確には上海に寄ります)を運航しており、所要時間約9時間です。格安航空券は、シーズンによって価格は違いますがおおよそ10万円位から。この直行便はネパール旅行シーズン(だいたい10月から翌年3月くらい)中予約が取りにくいことが多いので、この時期に行く予定のある人は早めに予約を入れるようにしましょう。他には香港経由・バンコク経由で行くというもあります。香港経由の場合、キャセイ・パシフィック航空とロイヤル・ネパール航空の乗り継ぎ、バンコク経由だとタイ国際航空の深夜便があるので翌朝乗換えも比較的スムーズにできます。

ニュージーランド 海外語学実習

柴田 賢幸 (国際文化学科2年)

今回私たちは海外語学実習の一環として、ニュージーランドに行きました。ニュージーランドという国は赤道をはさんで日本とは正反対に位置しており、日本とは季節が逆になります。私たちは2月から3月にかけて行ったので、向こうの季節はちょうど夏ということでも過ごしやすかったです。ただ、一日の寒暖の差が激しく、朝夕は長袖を羽織らないと肌寒いのに対し、昼は半袖で過ごさなければならないほど暑かったのが印象的でした。

この語学実習を通して、私たちは日本だけでなく、海外にも視野を広げることができました。そして、この体験を今後の進路にうまく活用できるよう頑張りたいと考えています。



ニュージーランド報告会

次号に続く